

自分で

小さな鉢から

アジサイが盛り



うっとうしいこの時季でもさわやかに咲くアジサイ。とてもきれいですね。

今年の冬、勢多農高の生徒の皆さんが総合福祉会館の西側に植えた苗が育ち、咲き始めました。生徒の皆さんはいろいろな種類のアジサイを栽培して、市内の公共施設などへ提供してい



アジサイの苗植え

るそうです。

アジサイのある家庭も多いでしょうが、これから始めてみようという人は、参考に見学してみたらいかがでしょうか。

これからの庭



最近、屋上庭園という言葉が

耳にしませんか。高層建築などの空調設備置き場が緑豊かな庭に変身、建物への負担を少なくするため、防水性や軽量化が研究され、開発が進んできました。これは主に、都市部での利用が期待されているようです。夏のヒートアイランド現象、空気の浄化や動植物の生態系保存に大きな役割を果たしていくのではないのでしょうか。

始めませんか



田畑を耕し、作物を収穫する。土いじりは、農耕民族であるわた

問い合わせは広報広聴課

890 6642へ。

たしたちの本能でしょうか。また、「園芸療法」として確立され、医学的効果もあります。年齢を問わず、多少の身体的障害がある人でもできるので、市内の高齢者福祉施設などでも行われ、成果を上げているようです。「園」という字の中は「土住・口(食)・衣」からできています。衣食住、つまり、生きる力その源を支えているのです。と、勢多農高の生徒の皆さんが教えてくれました。あなたも、園芸を始めてみませんか。

すてきな「お庭」拜見

第五回「花のあるまちづくりコンクール」市長賞の服部さん(新堀町)のお宅を訪れ、庭作りについて、いろいろとお話を聞きました。

いつから園芸を始めたのですか。

以前から楽しんでいましたが、イングリッシュガーデンに対するあこがれが募るばかり。三年半前こちらに引越してきたので

を機に、本格的に始めました。まず、気付くのは白い花々と石こう像ですが。

最初は、好きな花を地植えやハンギングで楽しんでいました。でも、ガーデナーが最終的に行き着くのは色を統一した庭です。わたしはホワイトガーデン。白い宿根草を植えました。特に好きなのがアジサイとバラです。百八十の石こう像は前から欲しくて、手に入れました。

新堀町・

服部千代子さん

これまで、コンクールで何度か入賞されていますね。とても励みになります。プレッシャーも感じますが、友だちも増えて、交流の輪が広がりました。

夢は何ですか。本場イギリスへ行つて、思う存分、庭を見たいですね。昨年秋に他界した夫の遺志を継いで、これから花とともに暮らしていきたいと思えます。



花壇の手入れをする服部さん